



社会福祉法人 尚徳福祉会
保土谷保育園

平成 28 年 7 月 1 日

本格的な梅雨に入り、お部屋で過ごすことが多い今日この頃です。子どもたちはリズム遊びをしたり巧技台で遊んだり、体を動かして遊ぶ姿はもとより、製作等で初めての経験が増えています。絵の具を使っての遊びも広がりを見せ、そのたびに瞳を輝かせ興味津々に挑んでいます。これからもたくさんの事を経験しそれらを糧に少しずつ成長してほしいです。今月は、プール遊びに挑戦です。



早寝早起き朝ごはん

“早寝早起き朝ごはん”が子どもの成長にとって大事なことといわれて久しいですが、いったいなぜ大事なのでしょうか。それは、成長に欠かせないホルモンが早寝早起きの良いリズムに沿って分泌され、規則正しい生活習慣の乱れが、意欲、気力、体力の低下の要因の一つとして指摘されているからです。成長ホルモンは、夜分泌されます。いろいろなことに挑戦し元気いっぱい遊べるように、良い睡眠を心がけましょう。



絵の具遊び

うさぎ組で初めての絵の具遊びに、子どもたちは好奇心旺盛でした。かたつむり・・・クレヨンで模様を描いた後、筆を持って絵の具で色ぬり開始、ピンク、水色、黄色、色を決めるのも真剣そのものでした。あじさい・・・タンポに絵の具をつけて「ポンポン」と色をつけました。中にはタンポを横に滑らせ描く子もいて、いろいろなあじさいができました。雨だれ（しずく）・・・絵の具を手につけパタパタ色をつけました。最初戸惑っていた子も、友だちの様子を見てパタパタ開始！子どもたちの手形が残るなんともいえない味わいのあるしずくができました。

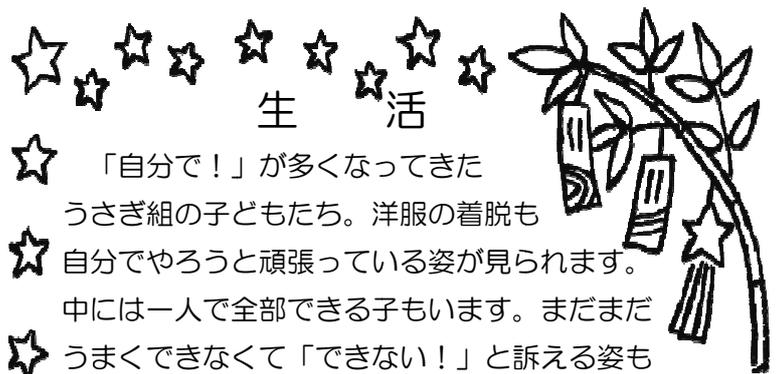


トイレトレーニング

うさぎ組のおむつ替えはトイレで行っています。その際ほとんどの子が便器に座ります。便器に座れることがトイレトレーニングの第一歩です。次の一歩は便器に座って排尿できること、そして尿を膀胱にためられるようになるれば、あとはタイミングです。オムツは濡れているけれど便器で排尿できる子。オムツは濡れていないけれど便器に座っても排尿できない子、便器に座るのを嫌がる子。その子によって様々です。

オムツが濡れていないことが多くなり、便器で排尿できるようになれば、布パンツにするよう相談させていただきます。

またそうでなくても、お子さんが「布パンツにしたい」と思っていればその気持ちを大事にしています。焦らず、トイレが嫌いにならないように、トイレトレーニングを進めていきたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。



生活

「自分で！」が多くなってきたうさぎ組の子どもたち。洋服の着脱も自分でやろうと頑張っている姿が見られます。中には一人で全部できる子もいます。まだまだうまくできなくて「できない！」と訴える姿もありますが、自分でやろうとする気持ちを大切にしてい、見守ったり保育者が少し手伝ったりして、「できた！」という達成感をもてるようにしています。少しずついろいろなことが自分でできるようになってきています。保育者が一つひとつわかりやすく丁寧に関わりながら、自立心を育てていきたいと思っています。

